

会社概要

リープアローズ合同会社

共に考え、共に歩みます

リープアローズは IT × クリエイティブ で
お客様の課題解決に貢献する、伴走型 IT エージェンシーです。

会社名	LEAP ARROWS合同会社		
設立	2018年9月13日	資本金	1,000,000 円
法人番号	8430003009715	インボイス番号	T8430003009715
所在地	北海道札幌市中央区北2条西2-32 第37桂和ビル 5F		
電話番号	050-3177-5101	WEBサイト	www.leap-arrows.co.jp
事業内容	ライフスタイル向上に関する企画・制作・運営 マーケティングに関する企画・制作・運営 コンピュータシステムに関する企画・開発・保守 前各号に付帯関連する一切の業務		

齋藤 厚作 / Kohsaku Saito

LEAP ARROWS 合同会社 代表

 KohsakuSaito  KohsakuSaito

システムエンジニアとしてキャリアをスタートし、プロジェクトマネージャーを経てアジャイル開発と出会う。

2014年に独立し、2018年に法人化。「共に考え、共に歩みます」をスタンスに、**アジャイル推進支援・人材開発・組織開発**を中心とした研修・ワークショップを提供している。

個人やチームが成長し、組織全体のパフォーマンスが向上するための**内省と対話の場づくり**を大切にしている。

認定・資格

PMI® 認定プロジェクトマネジメント・プロフェッショナル(PMP®)

Scrum Alliance® 認定スクラムプロフェッショナル スクラムマスター(CSP-SM®)

Scrum Alliance® 認定スクラムプロダクトオーナー(CSPO®)

LEGO® SERIOUS PLAY®メソッドと教材活用トレーニング修了認定ファシリテータ

REFLECTION METHOD LAB認定 リフレクションカード®プロファシリテータ



Last Update: 2025/1/6

LEGO® SERIOUS PLAY® メソッドと教材活用した ワークショップ

ワークショップの概要・活用例は以下のとおりです。

概要

LEGO® SERIOUS PLAY® メソッドは、レゴ®ブロックを使って、創造力を引き出しながら問題解決やコミュニケーションを促進するメソッドです。ハーバード大学・NASAなどの研究機関を始め、マイクロソフトなどの民間企業でも活用が広がっています。

思考の可視化

ブロックで作品を形づくり自身の経験や価値観を表現



相互理解の促進

ストーリーを語り、質問しあうことで互いをより深く知る



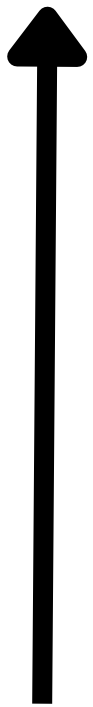
集合知の探求

みんなが心の底から共感できる共通理解や物語を作る

活用例

- 個人のキャリア開発
- チームビルディング
- 新入社員のオンボーディング
- 新たな戦略立案
- 組織のビジョン形成
- リーダー育成

できごと	
時系列パターン	
構造	
潜在意識	



LEGO® の
作品と対話を
通じて表層化

LEGO®ブロックを活用したスクラム ワークショップ

ワークショップの概要・ゴール・取り組みのポイント・期待できる効果は以下のとおりです。

概要

本企画は アジャイル開発、スクラムの概要理解と LEGO® ブロックを使って、チームで建物を作りながら手法を体験することができるワークショップです。要件の洗い出し・バックログの設定・計画作成・スプリントの実行・ふりかえりといった一連のプロセスを体験することが可能です。

想定対象者

- アジャイル開発、スクラムが初めての方
- アジャイルプロジェクトが初めての方
- 組織としてアジャイルマインドを浸透したい部署

取り組みのポイント

- 短時間でアジャイル開発、スクラムの概念を学べる
- 3つの役割を全員が体験できるよう設計
- システム開発に関わらない方でも体験が可能



(参考動画リンク：[lego4scrum](https://youtu.be/lnNt1Ksroms))

<https://youtu.be/lnNt1Ksroms>

期待できる効果

- アジャイル開発、スクラムとは何かを理解する
- アジャイル開発のマインドでチームワークの向上と自己組織化
- スクラムのフレームワークを業務に活用して生産性が向上

課題 & プロジェクト管理ツール Jira を活用したプロジェクト管理 入門

ワークショップの概要・ゴール・取り組みのポイント・期待できる効果は以下のとおりです。

概要

DX推進に必要なプロジェクト管理の基本スキルと、プロジェクト管理ツール Jira の基本的な使い方を習得することで、情報の一元管理と見える化をし、円滑なプロジェクト推進の体制が構築できるよう学習します。

想定対象者

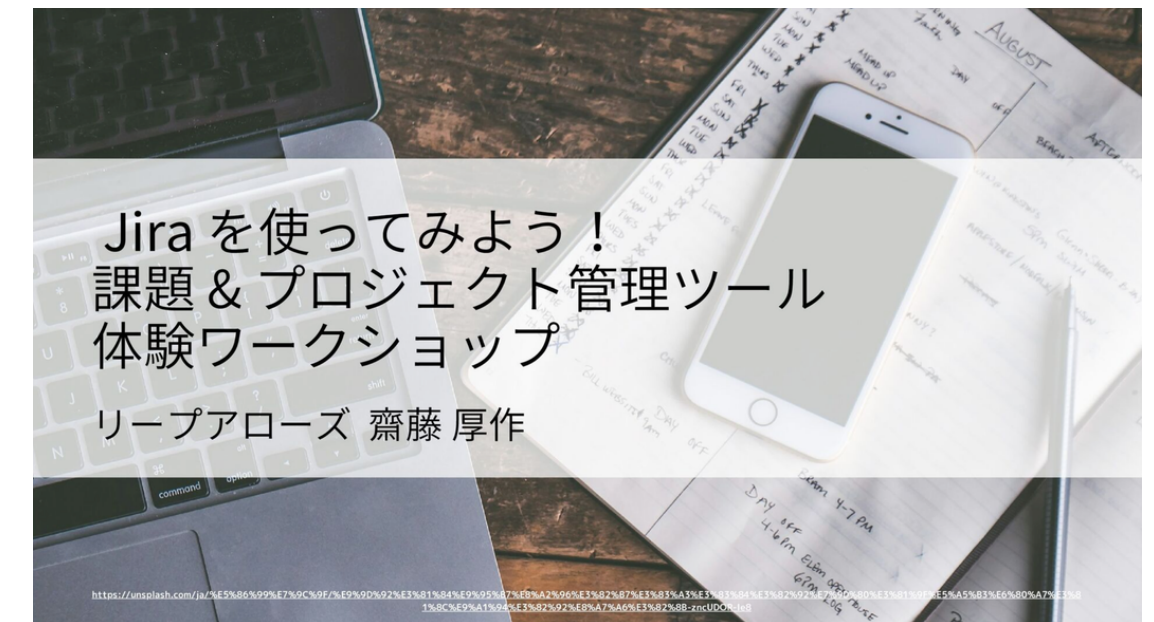
- プロジェクト管理が初めての方
- Excel / Word で管理している方
- プロジェクト管理ツールが未体験の方
- 業務を可視化、一元管理したい方
- プロジェクト管理を標準化したい方

取り組みのポイント

- Jiraの基本操作に集中し、プロジェクト作成とタスク管理を学習。
- 参加者間のスキルを統一し、共通理解を深める。
- 応用機能の概要を紹介し、今後の活用に備える。

期待できる効果

- 基本操作を活用し、業務効率が向上。
- スキル統一で、チーム全体の連携が円滑になる。
- 応用機能の理解で、将来的な活用と自己解決力が向上。



(参考リンク：SpeakerDeck)

<https://speakerdeck.com/kohsakusaito/trial-jira-project-management-tool-workshop>

コラボレーションツール Miro を活用したプロジェクト管理 入門

ワークショップの概要・ゴール・取り組みのポイント・期待できる効果は以下のとおりです。

概要

DX推進に必要なプロジェクト管理の基本スキルと、コラボレーション管理ツール Miro の基本的な使い方を習得することで、情報の一元管理と見える化をし、円滑なプロジェクト推進の体制が構築できるよう学習します。

想定対象者

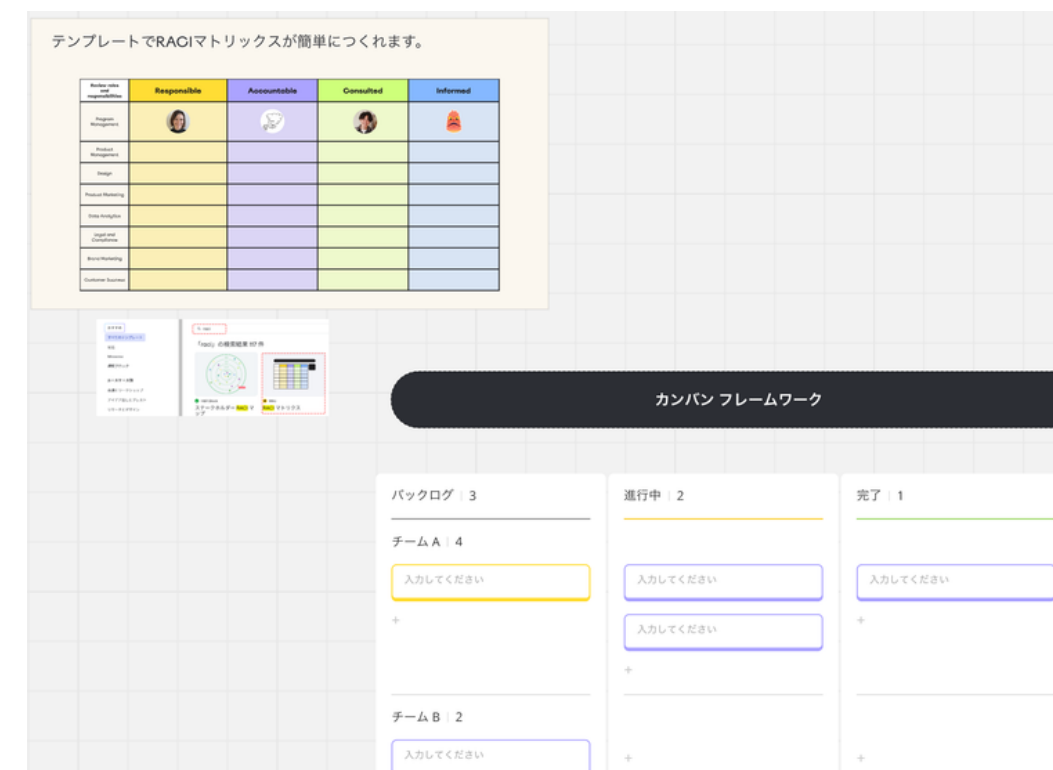
- プロジェクト管理が初めての方
- Excel / Word で管理している方
- プロジェクト管理ツールが未体験の方
- 業務を可視化、一元管理したい方
- プロジェクト管理を標準化したい方

取り組みのポイント

- Miro の基本操作に集中し、プロジェクト作成とタスク管理を学習。
- 参加者間のスキルを統一し、共通理解を深める。
- 応用機能の概要を紹介し、今後の活用に備える。

期待できる効果

- 基本操作を活用し、業務効率が向上。
- スキル統一で、チーム全体の連携が円滑になる。
- 応用機能の理解で、将来的な活用と自己解決力が向上。



リフレクションカード®を活用した 1on1 入門

ワークショップの概要・ゴール・取り組みのポイント・期待できる効果は以下のとおりです。

概要

リフレクションカード®は、カードを使って心理的安全な関係性を構築し、メンバーのモチベーションを引き出しながらメンバーの成長を促進するOJTリーダーとしての支援方法を学習します。

テーマを選ぶ

主人公が話せそうなテーマを選び、話をします。

質問を選ぶ

聴衆者が主人公に質問してみたいカードを選び質問します。

対話をする

カードを使いながら楽しく対話をして気づきを深めます。

気づきを共有する

気づきを言葉にして、明日のアクションにつなげます。

想定対象者

- これから 1 対 1 面談を実施する現場リーダー、管理職の方
- 1 対 1 面談で部下への育成力を高めたい、部下との面談に課題を感じていらっしゃる方

取り組みのポイント

- 多様化した価値観を尊重しながらキャリア開発を支援
- 1on1でどのように部下の特徴・キャリア志向を把握し、演習を通して、部下のキャリア開発を促します。

期待できる効果

- 1 対 1 面談の進め方を理解する
- これまでの経験を整理、理解し、部下のキャリアをサポートできる
- 自己効力感を高める問いかけを習得し部下の仕事への意欲を高められる



業務実績

LEGO® SERIOUS PLAY® メソッドと教材活用 ワークショップ

社会人大学 様



- 新規事業開発、地方創生・地域活性、起業、事業承継において、理想の事業を構想し、実現可能な事業計画を生み出す人材を育成

概要：部署を跨いで自社内の課題解決、顧客への価値提供を促進したい

施策：LEGO®を活用した、サービスデザインワークショップを実施

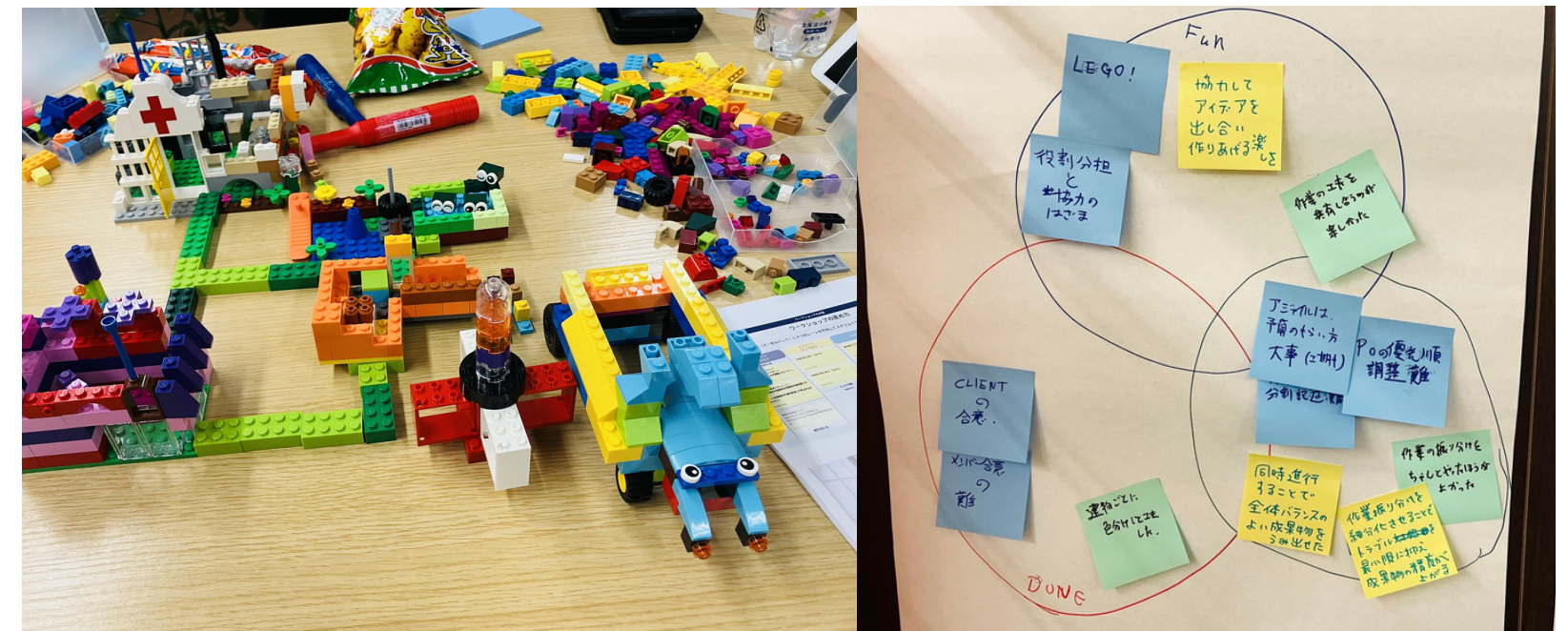
人数：15名（1テーブル5人 × 3テーブル）

効果：新サービス企画の創出、対話を促進しチーム内の関係性が向上。

時間：6時間

LEGO®ブロックを活用したスクラム体験ワークショップ

システム開発会社 様



- 事業内容：Webサイト制作 / システム開発
- 資本金：100万円

課題：アジャイル・スクラムの理解が浅く業務に活用したい

施策：LEGO®を活用したスクラム体験ワークショップを実施

人数：16名（1テーブル4人 × 4テーブル）

効果：アジャイルのマインドを理解して継続的なふりかえり実施。チームワークが強化。

時間：6時間